

## 令和元年度大湊村健全化判断比率等

○大湊村の令和元年度健全化判断比率及び資金不足比率は以下のとおりです。

### 【健全化判断比率】

	健全化判断比率		早期健全化基準	財政再生基準
	R1年度	H30年度		
実質赤字比率	—	—	15.0	20.0
連結実質赤字比率	—	—	20.0	40.0
実質公債費比率	8.2	8.5	25.0	35.0
将来負担比率	31.0	50.7	350.0	

※「—」は赤字額がないことを示しております。

#### ●実質赤字比率

「一般会計」等に生じている赤字の大きさを、財政規模に対する割合で表したものです。

※0に近いほど赤字が少なくなることになります。

#### ●連結実質赤字比率

「大湊村の全会計」に生じている赤字の大きさを、財政規模に対する割合で表したものです。

※0に近いほど赤字が少ないことになります。

#### ●実質公債費比率

地方債の返済額の大きさを、財政規模に対する割合で表したものです。

※0に近いほど返済額が少ないことになります。

#### ●将来負担比率

地方債など現在抱えている負債の大きさを、財政規模に対する割合で表したものです。

※0に近いほど負債が少ないことになります。

### 【資金不足比率】

会計名	資金不足比率		経営健全化基準
	R1年度	H30年度	
水道事業特別会計	—	—	20.0
公共下水道事業特別会計	—	—	

※「—」は赤字額がないことを示しております。

#### ●資金不足比率

下水道などの公営企業の資金不足を、公営企業の事業規模である料金収入の規模と比較して指標化し、経営状態の悪化の度合いを示すものです。

※0に近いほど赤字が少なくなることになります。